



RACDA 勝手にACTION

5

最寄りの停留所まで**300m**、歩いて**5分**とします。

全路線とも**早朝から深夜まで運行間隔は最大30分**とします。

市内の全地点を**1時間以内**で結びます。

ピーク時以外は**全ての利用客に座席**を確保します。

岡山市を中心とする広域都市圏の**最高運賃を500円**とし、利用者本意の**運賃体系**とします。

後からつづく人たちのために
人と環境にやさしい
トランジットモデル都市をめざして
岡山から未来を、岡山から世界へ

私たちRACDAでは、これからの活動指針として、あくまでも市民やの利用者立場から誰にも分かりやすく使いやすい公共交通（路面電車やバス、鉄道など）の整備と情報サービスの提供をめざして、1980年代半ばに作成されたチューリッヒ（スイス）の交通計画にならって、岡山市を中心とする広域都市圏をめざすべき交通基本サービスのありべき姿（目標）を上のような5つの行動計画に勝手にまとめてみました。

チューリッヒでは、この目標をほぼ10年で達成したと言います。また、私たちRACDAの目標とするアメリカ西海岸のトランジットモデル都市ポートランドでは、さらに進んで街づくりと一体となった公共交通ネットワークの整備を1970年代半ばから進めています。その結果、深刻な交通渋滞や大気汚染、空洞化によって衰退の著しかった中心市街地は見事に再生され、いまでは全米の人が憧れる美しく活気に富んだ街づくりを実現しています。

さいわい私たちの岡山には、ポートランドやチューリッヒにも負けない鉄道網が既に整備されています。この鉄道網を中心に、たとえば吉備線や津山線へのLRTの導入やバスや電車等の他の交通機関との接続性を高め、世界でもっともすばらしい公共交通ネットワークを築くことは、決して夢物語ではありません。

利用者や公共交通事業者、関係機関の皆さんと一緒に、この目標を達成したいと願っています。そして歩行の見直しと路面電車やバスなどの公共交通を元気にする「人と環境にやさしいトランジットモデル都市づくり」をすすめることによって、日本の街づくりの流れを変えていきたいと思ひます。

